※令和４年度以降入学生用

学校番号	3015

令和４年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	音楽Ⅰ「Tutti＋」（教育出版）						
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートやミニ論文、実技テストで評価します。
・音楽の学習は、仲間とともに実際にやってみて、試してみてこそ価値のあるものとなり、音楽が自分の物になり、時間の経過とともに感性がより豊かになります。
・音楽の専門性が向上し、音楽が生涯ずっとみなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

・知識・技能：様々な楽器の専門的な音楽理論や奏法、演奏表現技術を習得し自ら技能を向上させようとする。
・思考・判断・表現：創意工夫を自らの判断で行い、楽曲の多様性を考え、演奏技能を表現することができ、幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する価値を考え表現活動に取り組むことができているか。
・学びに向かう力人間性等：あらゆるジャンルを超えた音楽に触れることで感性を高め、創造的な表現と鑑賞能力を伸ばし、音楽文化について理解を深める。グループ活動が積極的かつ主体的におこなうことができるか。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音楽理論や各楽器専門の楽譜に関心を持ち、演奏技法を理解する。その知識をもとに自ら技能を向上させることに繋げ、主体的に技能の向上を図ろうとする。	創意工夫を生かし、より豊かな音楽表現をするために、判断し、必要な歌唱、器楽、創作、鑑賞技能からどのように演奏するか表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に非常に高い関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。音楽に対する理解も深く、演奏解釈、価値を創造的に味わっている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ギターアンサンブル	【器楽】 ちょうちょう きらきら星 Butterfly 大きな古時計(コード) J-POP	a:ギターのチューニング、基礎的な奏法や TAB 楽譜の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいるか。 b:声部のかかわり合いを知覚し、それらの働きが生み出す特徴や雰囲気を感受し表現意図をもっているか。 c:　コード音楽に対する理解も深く、コード理論、コードネームダイヤグラム、演奏解釈、価値を創造的に味わっている。発表会形式の実技テストにおいて観衆を魅了する演奏ができる。	実技テスト 筆記テスト 聴音テスト	授業内発表 (観察)	ワークシート 自主課題提出
	イメージをもって豊かな声で歌おう	【歌唱】 校歌 君にとどくまで 少年時代 浜辺の歌	a:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるために歌唱の技能を身につけている。	実技テスト	授業内発表 (観察)	ワークシート 自主課題提出

※令和４年度以降入学生用

2学期	リコーダーアンサンブル	【器楽】 パッヘルベルのカノン Jupiter ハナミズキ ハレルヤ 空と大地	a:ソプラノ、アルト、テノール、バスリコーダーの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:4 声部の関わり合いを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかにすいて表現意図をもっている。 c:リコーダーの音色や奏法の特徴を生かした技能を身につけ、創造的に表現している。	実技 筆記 聴音 テスト	授業内 発表	ワーク シート
	和楽器に親しもう	【器楽・鑑賞】 さくらさくら 六段の調べ J-POP 箏奏者 LEO 氏の DVD 鑑賞	A:箏の調弦、基礎的な奏法や楽譜の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいるか。 b:声部のかかわり合いを知覚し、それらの働きが生み出す特徴や雰囲気を感受し表現意図をもっているか。 c:日本の伝統音楽に対する理解も深く、演奏解釈、価値を創造的に味わっている。発表会形式の実技テストにおいて観衆を魅了する演奏ができる。	実技 テスト	授業内 発表	ワーク シート
3学期	豊かに表現しよう	【歌唱・器楽】 クラスごとの器楽アンサンブル・合唱曲 アートフェスティバル （ランチタイムコンサート準備）	a:楽曲を内容とかかわらせて感じ取り、イメージをもって歌うこと、演奏することに主体的に取り組んでいる b:ハーモニーや歌詞の内容と音楽を形づくっている要素の働きを感受し、楽曲にふさわしい表現を工夫している。 c:表現したいことを伝えるために技能を身に付けている。	実技 テスト	授業内 発表 観察	ワーク シート

※令和４年度以降入学生用

	音楽を聴く力をつけよう	【鑑賞】 ショパン　革命 ラベル　ボレロ ベートーベン　交響曲第９番	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の関わりに関心を持ち、鑑賞する楽手に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作る要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気など感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 c:西洋音楽に深い興味を示し、よさや美しさ主体的に感じ、言葉で表現している。	筆記 テスト 聴音 テスト	授業内 発表 観察	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度